

第2回「これからの学生生活をともに考え、見守る研究会」開催報告.

(2023 年 11 月 25 日理事会報告より抜粋)

1. 日時・場所

10 月 12 日 (木) 15 時 30 分～17 時 30 分 公開研究会 オンライン zoom 開催

2. メインテーマ、講演者、課題図書

メインテーマ:「自分にとっての仕事」について考える

講演者: 島田潤一郎氏 ひとり出版社の夏葉社代表

課題図書: 島田氏著書「古くてあたらしい仕事」(新潮社)を学生の委員の課題図書として配布し、アンケートを事前集約した。

3. 出席者(委員・事務局のみ) 55 名

(1) 委員・事務局出席者 16 名

学生 3 名、教員 3 名、マスコミ等 4 名、事務局 6 名

(2) 公開出席者(委員・事務局以外) 39 名

講演者 1 名、学生 2 名、教員 5 名、大学職員 2 名、大学関係 2 名、官公庁 1 名、マスコミ 1 名、リスク講座 1 名、大学生協役員 3 名・職員 1 名、事業連合役員 1 名・職員 1 4 名、ブロック職員 2 名、大学生協連 2 名、不明 1 名

4. メインテーマにもとづく議題と内容

(1) 第2回研究会について

米山委員長より、第2回の概要と研究会を記事にしない旨の確認を行った。

(2) 学生アイスブレイク

平間全国学生委員の司会により、学生が座談会に参加しやすいように、講演の前に、聞いてみたい事や課題図書の感想などを出し合った。

(3) 講演

「自分にとっての仕事とは」をテーマに、ひとり出版社の夏葉社代表島田潤一郎氏により行った。

(4) 学生と島田氏との座談会

引き続き、平間全国学生委員の司会により、学生参加者と島田氏とで、座談会形式のディスカッションを行った。

(5) 全体ディスカッション

司会を山形大学教授松坂暢浩先生に交代し、参加者全体での意見交換を行った。

(6) ディスカッションを受けて

島田氏に感想を話してもらい、司会の松坂先生よりまとめを行った。

(7) 事務局連絡

事務局より、今回の録画視聴、次回研究会、フリースタイルについて、報告した。

(8) 録画視聴

参加申込者、委員・事務局には、公開研究会の録画視聴のリンク先を後日案内した。

5. 第3回に向けて

(1) 事務局会議

10 月 30 日に開催し、第2回振り返りと第3回について議論し、この間候補として挙がっている東京経済大学4年生堀田滉樹氏とすることを決定した。日程は別途調整。

以上